



ぼうさいこくたい2020セッション  
広島県災害復興支援士業連絡会×広島市

# 「ひとり」を 「独り」にしない 復興支援のカタチ

日時

2020年10月3日（土）  
午後1時30分～3時

視聴方法

ぼうさいこくたい特設サイト  
<https://bosai-kokutai.com/>へアクセス



セッションのページからプログラムを選択  
(広島メインスタジオのセッション)



視聴・閲覧（無料・事前登録必要なし）



内容

復興支援は、被災者を社会の中の「独り」ではなく、「ひとり」として生活できるように支援することが重要です。今回のセッションでは、どのような団体がどのように連携すればよりよい復興支援を実現できるかを話し合います。

第一部  
平成30年7月豪雨復興支援報告会

第二部 トークセッション  
「ひとり」を「独り」にしない復興支援のカタチ

出演者



特定非営利活動法人  
ひろしまNPOセンター  
専務理事・事務局長  
松原 裕樹 氏



広島県社会福祉協議会  
地域福祉課長兼  
広島県地域支え合いセンター長  
吉野 篤史 氏



認定NPO法人  
全国災害ボランティア支援  
団体ネットワーク（JVOAD）  
事務局長  
明城 徹也 氏



日弁連災害復興支援委員会  
委員長  
津久井 進 氏



兵庫県立大学大学院減災  
復興政策研究科准教授  
澤田 雅浩 氏



広島弁護士会  
広島県災害復興支援士業連  
絡会会長  
今田 健太郎 氏



公益社団法人日本技術士会  
中国本部  
広島県災害復興支援士業連  
絡会委員  
古川 智 氏



広島弁護士会  
広島県災害復興支援士業連  
絡会事務局  
工藤 舞子 氏



# 平成30年7月豪雨

## 広島県災害復興支援士業連絡会の 被災者支援活動

広島県災害復興支援士業連絡会  
法テラス広島法律事務所

事務局  
弁護士

工藤舞子

# 広島県災害復興支援士業連絡会

- 設立 平成23年5月12日
- 設立経緯
- 特徴 法律系・技術系のみならず、日常生活の援助や精神的なケアをする福祉系の団体も参画。
- オブザーバー参加 広島市危機管理課職員

# 広島県災害復興支援士業連絡会

- 全 14 団体 + 1 団体

- 1 法律系

弁護士、司法書士、不動産鑑定士、税理士、行政書士、社会保険労務士、土地家屋調査士、海事代理士、中小企業診断士

- 2 技術系

技術士、建築士

- 3 福祉系

社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士

- 4 その他 法テラス広島

# これまでの活動実績

- 定例会議～平時からの関係作り
- 平成26年広島土砂災害での支援  
8月23日～9月30日  
本部、安佐北区、安佐南区のボランティアセンターに運営スタッフを派遣。  
延べ315名。
- 広島市と平成26年土砂災害に関する協定締結



# 平成30年7月豪雨災害での 主たる活動

- ボランティアセンターへ運営スタッフ派遣
- 安芸区役所へ相談担当者派遣
- 現場での相談対応
- 広島県の地域支え合いセンターと連携
- まちづくり支援

# VC・運営スタッフ派遣

H30.7.9 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議

H30.7.10～8.31

- 安芸区ボランティアセンター 183人
- 安佐北区ボランティアセンター 36人
- 南区ボランティアセンター 42人
- ボランティアセンター本部 40人

派遣延べ人数

301名



## 安芸区役所・相談担当派遣

H30.7.12 広島市危機管理課から架電  
2時間後に相談員派遣開始

H30.7.12 ~ 8.31 毎日派遣

H30.9.1 ~ 9.14 平日派遣

弁護士・司法書士・行政書士が対応

派遣延べ人数 222名



# ポイント

- 行政窓口 = 被災者に近いところでの相談
- 行政と二人一組の相談対応
  - = 被災者が抱えている問題は一つではない
  - = 良好な役割分担
- 被災者の満足

# 現場での相談対応

日程	場所	連携先
H30.8.18	矢野南小学校	広島市
H30.8.19	熊野町民体育館	広島県
H30.8.26	三原市本郷生涯学習センター	広島県
H30.9.7	呉市安浦町づくりセンター	広島県
H30.9.8	矢野区矢野公民館	N P O
H30.9.16	坂町 小屋浦西昭寺	N P O
H30.9.21	坂町役場	広島県
H30.10.2	坂町役場	広島県
H30.10.9	坂町役場	広島県

派遣延べ人数 **48名**

# ポイント

- 複数士業による相談対応のメリット  
= 心理的・技術的・法的な、相談者のいろいろな相談事にその場で対応できる
- 行政と連携するメリット  
= 近くの避難所の訪問が、スムーズに実施可能
- 広報が重要
  - ・ 放送を流してもらう
  - ・ 回覧板で、実施のお知らせを回してもらう。
- 避難所訪問は迅速性が大切

# まちづくり支援

## 大原ハイツ復興の会

- 意見集約  
アンケート  
会議へのオブザーバー参加
- 大原ハイツ防災勉強会
- 生活再建等の相談会



平成30年11月18日  
中国新聞記事

熊野町  
相談会で...

意見交換

大原ハイツ  
復興の会  
発足

継続的支援へ

# 専門集団が本格始動

④サポート

いのちを守る  
検証 西日本豪雨  
よみがえる団地・第2部

「住まいの確保は被災者の安心につながる。早めに方針を出してほしい」。10月末、広島県熊野町役場の会議室。今田健太郎弁護士(42)は、被災者が入居しているみなし仮設住宅の家具の無償期間を延長するよう、町幹部に強く求めた。西日本豪雨で被災した町川角の団地、大原ハイツの再生を目指す住民団体「復興の会」が発足して2週間後、町に要望を伝える初めての場だった。同席した今田弁護士は専門用語に戸惑うメンバーに助け舟を出し、交渉を支えた。

## 仮設の延長実現

「行政と住民が対立すれば復興は進まない。入り口だったこの日は、すこく大

## 弁護士や技術士ら

切だった」と今田弁護士。広島弁護士会災害対策委員長を務め、4年前の広島土砂災害の被災地の復興支援に携わった。住民と行政を

スムーズにつなぐ重要性を身をもって知る。復興の会代表の串山直樹さん(36)から8月に相談を受け、支援を続けてきた。



復興の会役員と町幹部とのやりとりを見守る今田弁護士(奥左から2人目)や山下さん(奥左端)たち=10月29日、広島県熊野町(撮影・窪池尚)

会の住民アンケートで把握したニーズを整理。まず、みなし仮設住宅の契約期間延長の実現に焦点を当てた。

町は要望を受けてから1週間余り後、最終3年までの契約延長を表明する。当初は原則半年間の無償。町は延長方針を示していたが、その対象者を明確にしていなかった。今回、自宅が壊れていなくても団地の安全性が不安で備らなない避難者を含め、全世帯を対象にするを確約した。

「全くの素人が集まって復興の会、サポートする専門家の活動が本格化している」(串山さん)という。

## 防災力の底上げ

建設や環境、情報など幅広い分野の技術者でつくる日本技術士会の中国本部防災委員会メンバーは常に会に寄り添う。委員長の高川智さん(62)と副委員長の山中祐一さん(66)の2人も町への要望の場に同席し

た。技術士は国家資格。防災に関する専門家も多い。山下さんは砂防学会中国四国支部長を務める。2人は広島土砂災害の被災地で、防災マップ作りなどを指導した。大原ハイツでもノウハウを活用したい考えだ。

復興の会に関する活動は全てボランティアだ。「地域の防災力を底上げしたい一心」と口をそろえる。同じ専門性をもつ広島大防災・被災研究センターとの連携にも期待を寄せる。

被災地は現代社会の縮図だと今田弁護士は言う。「高齢化やコミュニケーション不足など、社会が抱える課題は災害で浮き彫りになる。だからこそ、さまざまな問題に対応できる専門家が不可欠だ」

井護士や技術士など、いわゆる「士業」などの14団体でつくる県災害復興支援士業連合会は10月末、被災地に専門家を派遣する協定を県などと結んだ。今田弁護士は指図が形になった格好だ。その先例となる取り組みは既に、大原ハイツを舞台に始まっている。(災害取材班)

実

績

# 大原ハイツ復興の会支援

	復興まちづくり支援
H30.8.31	大原ハイツの復旧・復興についての意見交換会
H30.9.28	新建自治会訪問
H30.10.8	梅林地区訪問
H30.10.16	大原ハイツ復興の会 発足説明会 60名参加
H30.10.25	第1回集会
H30.10.29	熊野町との意見交換会
H30.11.7	行政による大原ハイツ復興の会 住民説明会参加
H30.11.27	第2回集会
H31.2.16	第1回 防災勉強会・相談会（6月まで実施）
H31.4.7	第2回 防災勉強会
H31.4.21	第3回 防災勉強会
R1.5.19	第4回 防災勉強会
R1.6.2	避難訓練&交流会
R2.8.2	新建自治会訪問

# 広島県災害復興支援士業連絡会が、 広島県・広島県地域支えあいセンターと協定締結

- 平成30年10月30日  
被災者の見守り・相談支援業務に関する  
協定締結
  - ・ 個別相談 ・ 集合相談
  - ・ 講師派遣



協定締結式



中国新聞 平成30年12月25日

2018年(11月~12月)

内容	件数	派遣人数
集合相談 (坂町役場)	5件	10人

2019年

内容	件数	派遣人数
集合相談	33件	69人
坂町 / 江田島 / 熊野 / 尾道 / 東広島 / 三次 / 三原		
個別派遣	3件	4人
講師派遣	1件	1人



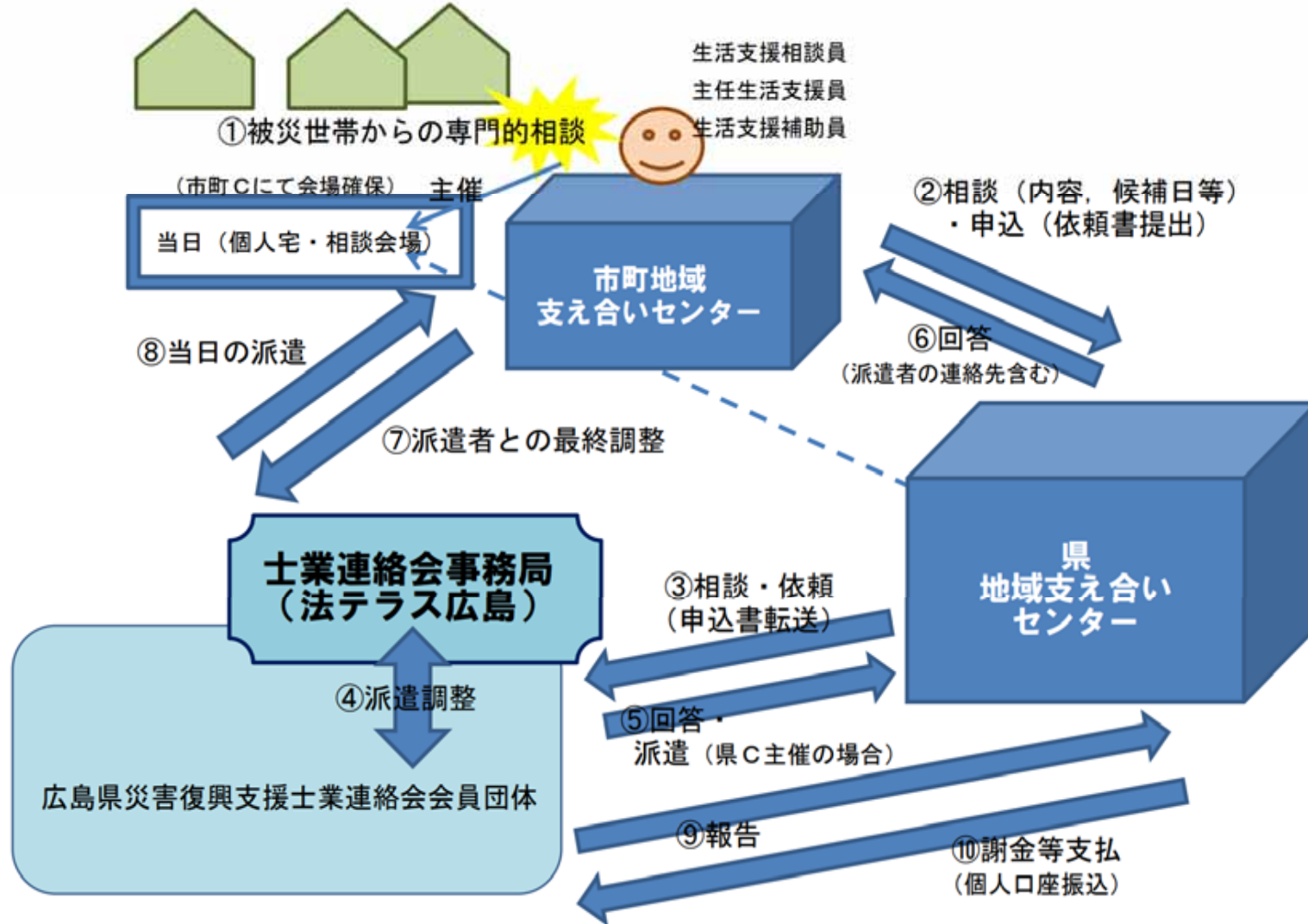
2020年

内容	件数	派遣人数
集合相談	13件	26人
坂町		
個別派遣	2件	3人
講師派遣	2件	3人

2020年10月3日現在



# 「広島県地域支え合いセンター」 専門家派遣事業の流れ



# スキーム

各市町村の支えあいセンターが戸別訪問により被災者のニーズを把握



各市町村の支えあいセンターから、広島県支えあいセンターに専門家派遣を依頼



広島県支えあいセンターから土業連絡会へ専門家派遣を依頼



土業連絡会が、担当者を選び、広島県地域支えあいセンターに連絡



広島県地域支えあいセンターが、各市町村の地域支えあいセンターに担当者を通知



担当者と各市町村の支えあいセンターが、日程などの詳細を決定



相談実施

# 広島市との平時協定締結

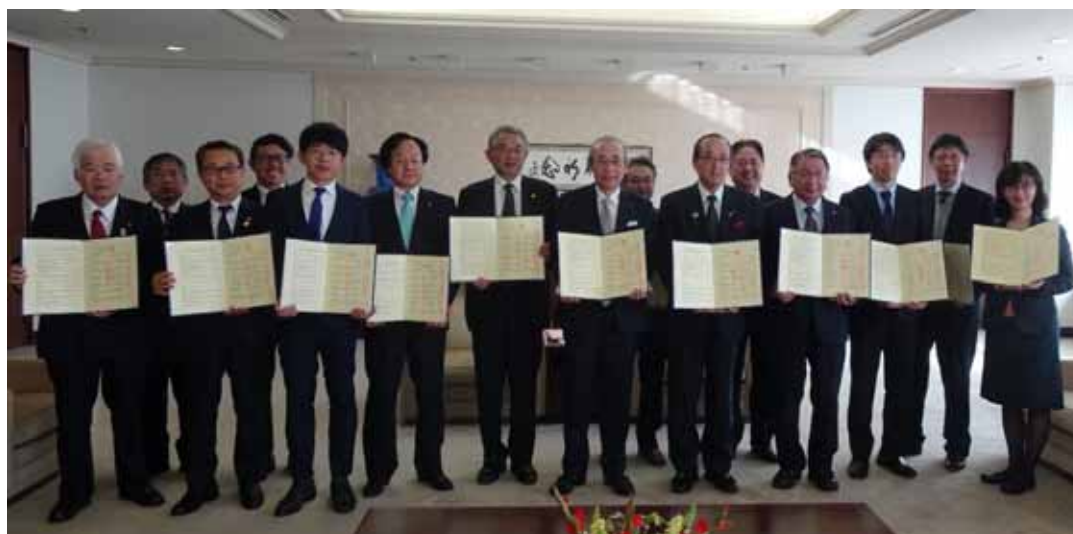
令和元年 1 1 月 6 日

大規模災害時の専門家派遣による被災者支援に関する協定

区役所や避難所等での相談対応

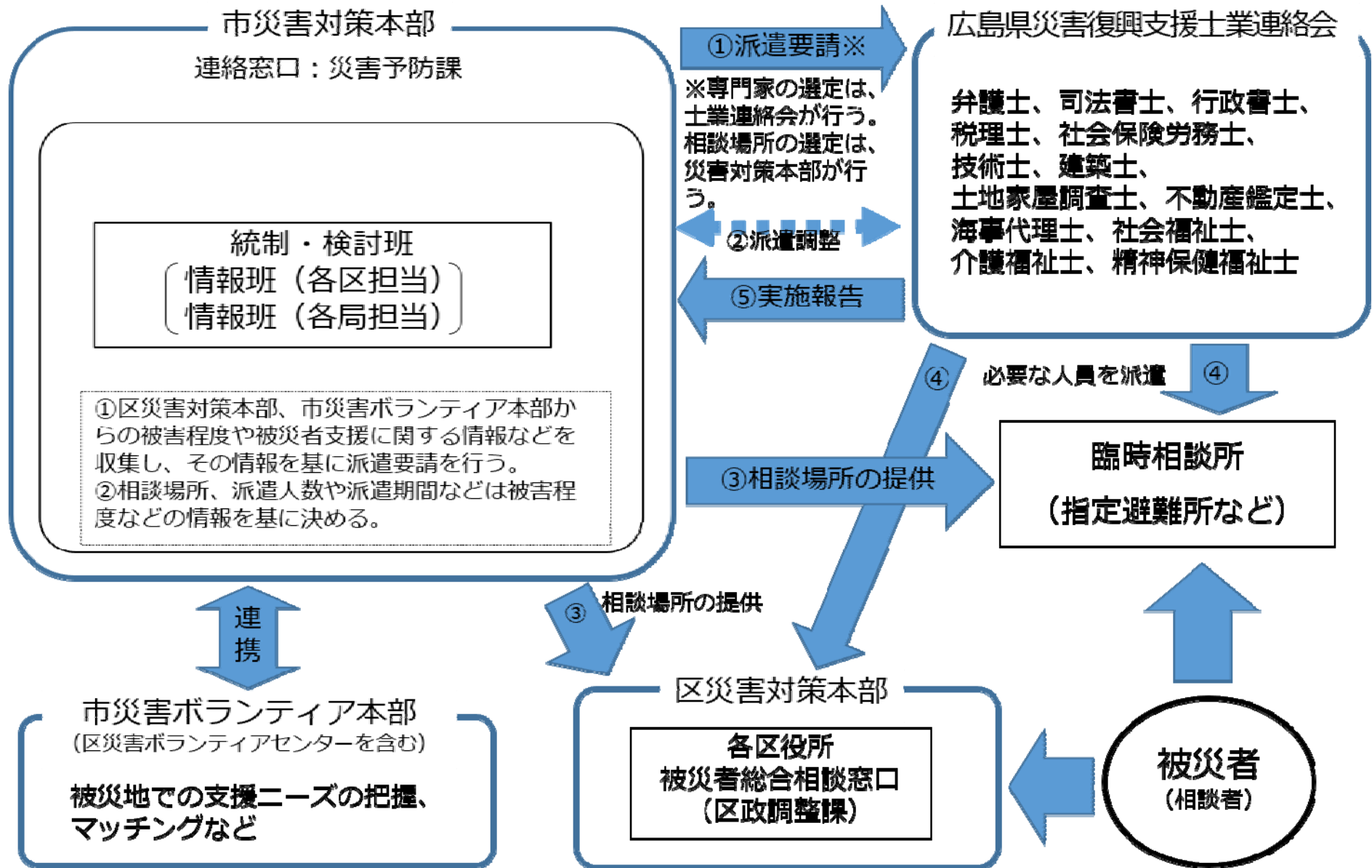
機動的な被災者支援を行うための

研修会・防災訓練・防災教育等の実施 等



協定締結式

# 大規模災害時の専門家派遣による被災者支援に関する協定の運用イメージ





**ご静聴いただき、ありがとうございました。**

---

ぼうさいこくたい2020 セッション  
広島県災害復興支援士業連絡会×広島市

# 「ひとり」を「独り」にしない 復興支援のカタチ

## <平成30年7月豪雨支援報告>

2020年10月3日(土)

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

松原 裕樹

## 自己紹介



特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター  
専務理事・事務局長

**松原 裕樹**（まつばら ひろき）

 <https://www.facebook.com/hiroki.matsubara.1021>

 chiro\_matsubara

### <経歴>

- 2005年 広島工業大学環境学部環境デザイン学科 卒業
- 2006年 特定非営利活動法人ひろしま自然学校
- 2010年 The Institute for Earth Education
- 2011年 株式会社JTBコミュニケーションズ
- 2012年 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

1982年広島生まれ。NPOや企業、渡米経験を経て、環境、教育、地域づくり、観光、防災などに関する事業の企画、運営、コーディネートを行っている。2017年からひろしまNPOセンター事務局長に就任。ゆたかな市民社会の実現に向けて、NPOやボランティア活動の支援、地域課題の解決やSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた多様な主体との協働に取り組む。平成30年7月豪雨災害では、広島市災害ボランティア本部の副本部長を務めた。内閣府認定地域活性化伝道師、環境省中国環境パートナーシップオフィス・中国地方ESD活動支援センター 事務局長。



## 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター



特定非営利活動法人

ひろしまNPOセンター

▶ ひろしまNPOセンターとは ▶ 入会案内 ▶ 総合お問合せ

NPOとは

NPOの皆様へ

企業/団体の皆様へ

社会貢献に  
興味のある皆様へ

大学/教育関係の皆様へ

| NPOの皆様へ

### ゆたかな市民社会を共に創る

ひろしまNPOセンターは、NPOや企業、大学、市民の皆様と共に社会課題解決にとりくみ、その取り組みを広く社会に発信し、また、NPOの基盤強化をバックアップします。



企業/団体の皆様へ



地域/社会貢献に  
興味のある皆様へ



大学/教育関係の  
皆様へ



ひろしまNPOセンターの取り組み

女性のためのひろしまNPOセンター  
& 暮らしビジネス創業スクール  
申込受付中! 体験講座/7月31日(金)  
創業スクール/9月1日(火)~12月8日(火)

みんなが守ろう!日本の希少な動物と自然環境  
SAVE JAPAN  
プロジェクト 2015

『新しい総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)』に関するアンケート 報告書

県内NPO法人データ検索



「活動分野」や「地域」などから、広島県内の特定非営利活動法人(NPO)を検索することができます。

- ▶ 広島県内NPO法人データ検索
- ▶ 広島県内NPO法人データ一覧



ひろしまNPOセンターの活動を  
会員として支えてください。  
→ 入会案内

イベント・セミナー情報



地域・分野から  
調べる

カレンダーから  
調べる

新着情報

- 震災がつなぐ全国ネットワーク 2015年度移動寺子屋「これからの広島を考える会」
- 「平成28年度子どもゆめ基金助成」募集活動説明会
- 里山・里海リレーシンポジウム in 三次 困りごとをビジネスに変えるには?~足元をみつめよう!地域密着型ビジネスの始め方~
- SAVE JAPANプロジェクト2015 元気なアシを育てるためのアシ刈り大作戦&クラフトアート
- 県立広島大学開学10周年記念講演

▶ イベント/セミナー一覧

助成金/支援制度情報



- 広島県省エネ活動促進補助金について
- 平成27年度 ソーシャルビジネスプランコンテスト!
- マツダ財団 第32回(2016年度)市民活動支援募集について-青少年健全育成関係-

## NPO活動の分野

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 観光の振興を図る活動
- (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
- (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (7) 環境の保全を図る活動
- (8) 災害救援活動
- (9) 地域安全活動
- (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (11) 国際協力の活動
- (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (13) 子どもの健全育成を図る活動
- (14) 情報化社会の発展を図る活動
- (15) 科学技術の振興を図る活動
- (16) 経済活動の活性化を図る活動
- (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (18) 消費者の保護を図る活動
- (19) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
- (20) 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動

# 民設民営の 中間支援組織

ひろしまNPOセンターは、「民間の非営利組織に対し、その自立・成長のため、団体の運営又は活動及び連携に関し、助言、援助、ネットワークその他の支援事業を行うとともに、企業・政府・地方公共団体・教育研究機関等とNPOのパートナーシップの確立、他セクター間の連携確立を図ることによって、多様性と個人の自立ある豊かで開かれた市民社会の実現に寄与する」ことを目的(定款第3条)として、NPO法成立前の1997年9月13日、全国のNPO法制定運動の中で、地方の先駆けとなる数少ない民設民営のNPO支援センターとして設立された中間支援組織(インターメディアリー)です。

## (1) 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議

広島市災害ボランティア本部の運営(本部の立ち上げ・環境整備、副本部長(松原裕樹)の就任、各区災害ボランティアセンター支援(人材派遣調整ほか)、マスコミ対応、構成団体・関係機関の活動調整ほか)



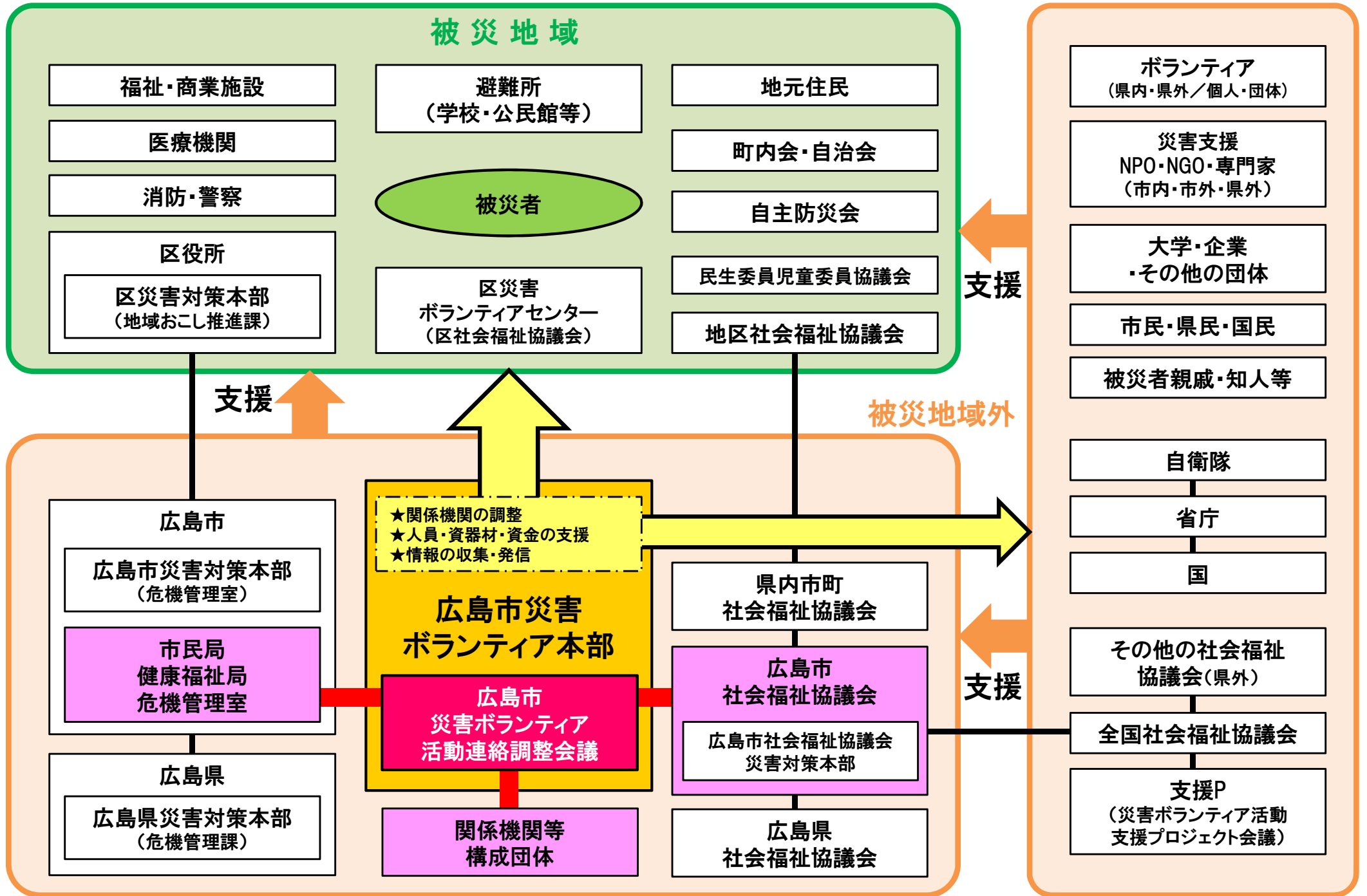
## 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議とは

広島市災害ボランティア活動連絡調整会議とは、大規模災害時における被災者の安全確保や生活支援、行政の業務支援等のボランティア活動に係る諸問題の検討並びに相互の連携を強化し、災害時における円滑なボランティア活動が行える環境の整備を図るとともに、災害時におけるボランティアの効率的な活動に資することを目的とする。

### 【構成団体】

(社) 広島市社会福祉協議会 / 広島市民生委員児童委員協議会 / 日本赤十字社広島県支部 / (公財) 広島YMCA / 広島市地域女性団体連絡協議会 / 日本ボーイスカウト広島県連盟 / (一社) ガールスカウト広島県連盟 / (一社) 広島青年会議所 / 広島商工会議所 / 連合広島 広島地域協議会 / 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター / SeRV広島 / 特定非営利活動法人コミュニティーリーダーひゅーるぽん / 特定非営利活動法人ANT-Hiroshima / カトリック広島司教区 平和の使徒推進本部 / 広島県災害復興支援士業連絡会 / 生活協同組合ひろしま / (公社) 青年海外協力協会中国支部 / 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima / 特定非営利活動法人ひろしま自然学校 / (公財) 広島市文化財団 / 広島市市民局市民活動推進課 / 広島市健康福祉局健康福祉企画課 / 広島市危機管理室災害予防課 / 広島市防災士ネットワーク

# 平成30年7月豪雨支援報告



## (2) 各市町災害ボランティアセンター・避難所等の支援

- 広島県社会福祉協議会(広島県被災者生活サポートボラネット)や広島県地域福祉課等の関係機関との連携
- 坂町たすけあいセンターの立ち上げ・運営支援(職員1名/約2カ月間)



## (3) 子育て支援団体との連携

○各地域の子育て支援へのボランティアスタッフの派遣や物資支援

○「産後ママの憩いの場～ばあばのおうち」(広島市中区)での入浴・休憩サービスの提供



手ぶら  
でOK



### お子さんの入浴とママの休憩を おてつだいします

平成30年7月豪雨災害で、  
お困りのママと乳幼児(0歳～4,5歳)さんに『ばあばのおうち』が、  
入浴と軽食の無料支援をします。(予約制)

猛暑の影響もあり、外出できず閉じこもりがち、  
ホッとした時間を過ごして頂きたいと、ばあばのおうちを無料開放します。

【 利用可能日 】

8月1日(水) 8月2日(木) 8月3日(金)

8月7日(火) 8月10日(金)

8月20日(月) 8月23日(木) 8月24日(金)

8月27日(月) 8月28日(火) 8月29日(水) 8月30日(木)

【 利用時間 】

10時～15時(利用受付14時まで)

個人利用、グループ利用などご相談ください。

防災士・広島県防災アドバイザー・産後サポーター・子育てアドバイザーのママさん



## (4) 支援団体への活動資金サポート

### ① ろうきんNPO寄付システム

○災害支援団体への緊急寄付配分(県内1団体に助成:計5万円/2018年8月)

<配分団体>

- ・特定非営利活動法人グリーンラインを愛する会

### ② 「公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしま」との連携

○平成30年7月豪雨災害支援基金の立ち上げ、支援金の募集

(第1次募集:2018年7月9日~8月31日、第2次募集:2018年9月4日~12月31日、寄付総額:3,320,796円/2019年3月31日時点)

○第一弾の緊急助成(県内5団体に助成:計50万円/2018年9月)

<配分団体>

- ・特定非営利活動法人もりメイト倶楽部Hiroshima
- ・特定非営利活動法人ひろしま自然学校
- ・Socoal Book Cafeハチドリ舎
- ・特定非営利活動法人呉サポートセンターくれシェンド
- ・特定非営利活動法人ANT-Hiroshima

## (5) 広島出身Jリーガー支援プロジェクト「ミンナノチカラ」

広島市出身Jリーガーの支援活動のサポート(クラウドファンディングによる寄付募集:計4,622,061円、広島市内16団体に助成:計320万円)



### <配分団体>

- ・井原地区社会福祉協議会
- ・狩留家地区社会福祉協議会
- ・口田地区社会福祉協議会
- ・口田東地区社会福祉協議会
- ・高南地区社会福祉協議会
- ・志屋地区社会福祉協議会
- ・深川地区社会福祉協議会
- ・三田地区社会福祉協議会
- ・安佐北区社会福祉協議会
- ・広島市社会福祉協議会
- ・認定NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽん
- ・コミサポひろしま
- ・NPO法人ひろしま自然学校
- ・広島たすけ隊
- ・NPO法人チャリティーサンタ広島支部
- ・若者活動サポートセンターあおぞら

## (6) 平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金

### ①基金について

平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金は、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興を目的とする、NPO法人ひろしまNPOセンターと公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまの協働事業です。この基金は、復旧・復興を願う市民の皆様からのご寄付に加え、Yahoo! 基金様において実施されたみんなのチャリティー募金『【支援金が2倍に】平成30年7月豪雨緊急災害支援募金』からのご寄付、広島県生活協同組合連合会様からのご寄付、公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまにおいて実施された「平成30年7月豪雨災害支援基金」へのご寄付を基に実施しました。



## (6) 平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金

### ② 助成事業について

コース	テーマ	助成総額
(A) ありがとうコース	平成30年7月豪雨発生から2019年3月31日までの間に取り組みられた復旧・復興活動に対して助成を行います。	総額500万円程度 1件あたり上限10万円
(B) これからもコース	2019年4月1日から2019年9月30日までの間に取り組みられる復旧・復興活動に対して助成を行います。	総額500万円程度 1件あたり上限50万円
(C) そなえるコース	平成30年7月豪雨災害において被害を受けた施設における、災害対応に必要な資機材および防災用具等の整備に対して助成を行います。	総額500万円程度 1件あたり上限100万円

## (6) 平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金

### ③応募・選考状況について

【応募期間】 2019年3月18日から4月18日

【応募結果】 応募件数：89件、応募総額：37,430,000円

【選考結果】 61プロジェクト、総額：15,470,000円

コース	応募件数	応募総額	採択件数	採択総額
(A) ありがとうコース	28件	2,620,000円	26件	2,420,000円
(B) これからもコース	33件	14,840,000円	17件	6,380,000円
(C) そなえるコース	28件	19,970,000円	18件	6,670,000円
合計	89件	37,430,000円	61件	15,470,000円

# 平成30年7月豪雨支援報告

(A) ありがとうコース 採択団体名	活動名(一部省略)	採択金額
災害で生活が変わった子供を支援する会	こども無料フリーマーケット	100,000円
小谷小学校区市民協働まちづくり協議会 志村地区	志村地区7月豪雨復旧、復興応援活動	100,000円
三原市防災士ネットワーク	防災士による各地域に於ける支援活動	100,000円
ピアサポート子育て相談センター	足裏マッサージとスイーツを食べながらの傾聴	90,000円
大原ハイツ復興の会	大原ハイツ復興の会	100,000円
NPO法人アニマルセラピー協会	仮設住宅に 笑顔と温もりを届けに	80,000円
ボラ写PROJECT	ボラ写PROJECT	100,000円
八本松住民自治協議会	土石流による二次災害防止対応	80,000円
三原継ぎの輪会	西日本豪雨災害市民ボランティア活動	100,000円
安芸区を支える会	安芸区災害ボランティアセンターを支える活動	100,000円
ひろしま避難者の会「アスチカ」	西日本豪雨災害の支援物資コーディネート活動	100,000円
広島市防災士ネットワーク	平成30年7月豪雨災害(広島県版)体験談集の発刊	100,000円
川上小学校区住民自治協議会	平成30年7月豪雨災害による農業用水路の復旧作業	100,000円
NPO法人セトラひろしま	被災地遊び場開催支援事業	70,000円
NPO法人Heart of Peaceひろしま	西日本豪雨災害避難所支援活動	100,000円
菅田区	7月豪雨菅田区復旧活動	100,000円
菅田東水利組合	7月豪雨菅田東水利組合復旧活動	100,000円
チーム踏ん張る	H30年7月豪雨における三原市本郷町船木地区の復旧作業	100,000円
NPO法人宅老サービス事業所ぴっばら	講演独演会～元気いっぱい大笑い～	90,000円
みやじま未来ミーティング	土砂かき復旧支援活動&宮島の海岸調査・清掃活動	100,000円
一般財団法人パパフレンド協会	『子ども達の笑顔を守る』の延長戦！	100,000円
えがおのまちづくりステッキ	「被災地の子どもたちに大道芸で笑顔を！」	100,000円
広島大学ボランティア団体 アイリス	広島県呉市安浦町を中心とした大学生によるこころの支援	30,000円
沼田東連合町内会	豪雨災害避難所支援及びボランティア支援活動	80,000円
遊ぼう会ぶらす	被災者の心のケアを目的とした交流ルームの整備	100,000円
三原アレルギーの会ひだまり	災害を乗り越えアレルギーマッチョ講演会	100,000円

# 平成30年7月豪雨支援報告

(B) これからもコース 採択団体名	活動名(一部省略)	採択金額
災害で生活が変わった子供を支援する会	ぼうさいひろば	500,000円
ピアサポート子育て相談センター	Smile Againプロジェクト～笑顔で見送れる日まで～	490,000円
NPO法人アニマルセラピー協会	仮設住宅の方に笑顔を 災害が起こった時のペットの避難所に	90,000円
NPO法人ANT-Hiroshima	尾道市吉和町西迫地緑化活動	450,000円
安浦夏祭り実行委員会	やすうらワクワク夏祭り2019	400,000円
広島市防災士ネットワーク	わが町防災マップを携行する避難システムの構築	500,000円
ひろしま女性防災会	早期避難を学ぶ、出張そなえてげんさい教室	490,000円
NPO法人宮島ネットワーク	宮島・アサリ浜の再生復旧事業	500,000円
学生ボランティア団体OPERATIONつながり	農地復旧ボランティア及び仮設住宅支援	360,000円
一般財団法人パパフレンド協会	木と親しみ保護者と子ども達の笑顔を守るプロジェクト	500,000円
Japanese Drum 和☆Rock	復興応援ファイト！安浦！和太鼓フェス-呉市春の文化祭-	100,000円
NPO法人日本タッチ・コミュニケーション協会	災害ストレスからの心の復興支援事業	250,000円
重兼を住みよくする会	重兼 みんなで減災活動	200,000円
遊ぼう会ぶらす	遊びを通して災害後の子どもの心のケアを行う	500,000円
船木地域支援センター	災害後の生活再建と地域コミュニティ再生のための支援	500,000円
三原アレルギーの会ひだまり	災害時の食の安全と命を守る自助・共助を進める活動	430,000円
広島大学大学院 心理支援プロジェクトチーム	ほっと・ゆるっと・のびのびと～皆さんの生活を応援します～	120,000円

# 平成30年7月豪雨支援報告

(C) そなえるコース 採択団体名	活動名(一部省略)	採択金額
NPO法人もりメイト倶楽部Hiroshima	倒木・流木処理活動	100,000円
三原ダイヤハイツ自治会	ダイヤハイツ自主防災会(自治会) 給水活動	360,000円
川西上町内会	船木地区の防災拠点としての整備と自主防災組織強化	150,000円
平坂集会所	平坂集会所を再建し盆踊り大会を復活させる	130,000円
うららサロン	地域コミュニティうららサロンの活動継続のためのの整備	150,000円
大原ハイツ復興の会	大原ハイツ復興の会	500,000円
NPO法人広島県森林管理協会	災害対応資機材及び防災用具準備	500,000円
兼広町内会	兼広集会所を再建し地域力を強める活動	120,000円
三原市小坂町防災会	避難所充実事業・避難者誘導安全確保事業	330,000円
川上小学校区住民自治協議会	防災用具備品の整備	500,000円
NPO法人きらら会	非常災害時の受入設備の充実	500,000円
市飯田区	災害対応必要資機材の整備	100,000円
和木 自主防災協議会	そなえるコース	1,000,000円
広島市防災士ネットワーク	今年の土砂災害・南海地震に備える	350,000円
社会福祉法人 尾道市社会福祉協議会	災害に備えた資機材の保管	300,000円
NPO法人障害者生活支援センター・てごーす	防災対策用品整備事業	660,000円
船木地域支援センター	船木地区の防災拠点としての整備と自主防災組織強化	500,000円
社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会	教訓と経験を活かして備える事業	420,000円



## (6) 平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金

6月1日(土)には広島国際会議場にて活動共有会を開催し、助成した団体や関係機関の約70団体・120名が集まり、お互いの支援活動のノウハウや課題、各地の状況について情報交換した。



## (7) Yahoo! ネット募金 (活動資金・支援金の募集)

【平成30年7月豪雨】 広島まだまだがんばってるけえ！

災害・復興支援

中間支援



# がんばろう広島

寄付金  
募集中!

領収書  
発行なし

♥ 寄付総額 (概算) 1,007,878 円

👤 寄付人数 4,179 人

寄付する

**T-POINT**

Tポイントを使って1ポイントから寄付できます。



※寄付をするにはYahoo! JAPAN IDの取得 (無料) が必要です。

※Tポイントで寄付をするには、ご利用可能なTポイント残高のあるYahoo! JAPAN IDでのログインが必要です。

※海外発行のクレジットカードをご利用の場合は、その都度カード番号の入力が必要です。

概要

活動情報

2019年5月30日 更新

シェア

ツイート

B!

メール

広島が初めて経験した広域災害、被災した15,176世帯のいま

## (8) 平成30年7月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議

### 目的

被災された方々の生活再建や地域の復興に向け、団体間の垣根を越えて顔の見える関係を構築し、地元との連携を図りながら取り組みを進めるため、情報交換やネットワークづくりを行う。

### 対象

西日本豪雨災害の支援活動を行う団体・個人の方  
(NPO/NGO、社会福祉協議会、行政、企業、関係機関、個人など)

### 日時・場所

月曜日…広島市内  
水曜日…三原市内

### 体制

主催:ひろしまNPOセンター、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)

協力:広島県、広島市、広島県社会福祉協議会、広島市社会福祉協議会、日本ファシリテーション協会



メンバー  
238  
名・団体

# 平成30年7月豪雨支援報告

開催日・場所	参加人数	意見交換のテーマ
第1回(7/11) 広島	65	①災害VC ②避難所 ③要配慮者
第2回(7/15) 広島	50	①災害VC ②避難所 ③作業系 ③在宅被災者 ④その他
第3回(7/18) 三原	34	—
第4回(7/23) 広島	37	①在宅避難者 ②避難所 ③その他
第5回(7/26) 三原	20	①在宅避難者 ②行政の補完機能 ③台風が来た時の避難 ④今後の話し合いの進め方
第6回(7/30) 広島	32	①土砂撤去の見通し ②高圧洗浄機のニーズ ③避難所 ④移動所要時間 ⑤台風対応 テーマ別ディスカッション:作業、ボラセン、避難所、在宅
第7回(8/1) 三原	32	①危険区域等の情報 ②在宅避難者 ③自衛隊の動き ④行政による土砂等の撤去制度 ⑤ボランティアニーズの把握 ⑥その他

# 平成30年7月豪雨支援報告

開催日・場所	参加人数	意見交換のテーマ
第8回(8/6) 広島	24	①ボラセンの役割 ②ボラセンの物資 ③ソフト活動 ④ボラセンと避難所の関係 ⑤障害者世帯
第9回(8/8) 三原	12	①ブルーシートをかけるボランティア ②物資の不足 ③ボランティアの充足状況 ④床下の処理方法 ⑤ソフト支援
第10回(8/20) 広島	38	①支援物資の提供 ②必要な物資の情報 ③障害者のニーズ ④農業・漁業 ⑤今やっておかないといけないこと ⑥浸水した家屋
第11回(8/22) 三原	22	①浸水後の床下処理 ②災害ゴミのスムーズな撤去の方法 ③井戸の修理 ④仮設住宅のバリアフリー ⑤心のケアのニーズ
第12回(8/27) 広島	23	①ボランティアセンターへのニーズの出し方 ②仮設住宅への引っ越し支援 ③移転先からの移動・買い物、移動支援 ④移転先でのコミュニティづくり
第13回(8/29) 三原	11	①床下の処理 ②自主防災の再建 ③新しい避難場所 ④障がい者支援
第14回(9/3) 広島	18	①これからもコミュニティづくりについて ②仮設住宅のバリアフリーについて ③公費解体について ④各団体の今後の活動予定 ⑤墓地に関して ⑥今後の避難所について

# 平成30年7月豪雨支援報告

開催日・場所	参加人数	意見交換のテーマ
第15回(9/5) 三原	17	①公費解体について ②農業ボランティアについて ③在宅避難を含めて今後の見通しなど ④水害についての情報提供
第16回(9/26) 三原	9	①今後(復興期)の活動予定
第17回(9/27) 広島	14	①今後(復興期)の活動予定
第18回(10/30) 広島	9	①三原市での調査 ②マツダの支援活動 ③制度利用
第19回(11/20) 広島	17	①情報共有に対する質疑応答 ②今後の連携
第20回(12/17) 広島	13	①住宅再建 ②復興公営住宅(主に坂町) ③リバースモーゲージ
第21回(1/24) 広島	14	①道路などの応急復旧箇所 ②住民主体のまちづくり復興プラン

# 平成30年7月豪雨支援報告

開催日・場所	参加人数	意見交換のテーマ
第22回(2/25) 広島	12	①団体活動に関するイベント等の告知
第23回(3/20) 広島	15	①坂町の被災者アセスメント調査 ②子育て家庭を対象とした災害に関するアンケート調査 ③行政担当者の人事異動への対応 ④「体験談集」発刊のお知らせ
第24回(4/15) 広島	19	①被災地における危険地域の把握 ②障がい者の子ども向けカード ③田畑への支援 ④公費解体と修繕の判断 ⑤九州北部豪雨(福岡県朝倉市)の事例
第25回(5/17) 広島	10	①子育て支援アンケート ②子育て世帯の困りごと ③障がい者の避難 ④避難と避難所の受入体制 ⑤街頭募金の実施場所 ⑥被災者のカーブ観戦招待
第26回(6/19) 広島	20	①大学生ボランティアの交通手段 ②土囊づくり ③広島市内のみなし仮設への支援状況 ④下の世代の育て方 ⑤1年を迎える時期の報道のあり方
第27回(7/24) 広島	17	①お店の再建 ②ボランティア保険 ③子育て支援活動に関する保険 ④被災地域以外での避難訓練における障がい者の参加状況

# 平成30年7月豪雨支援報告

開催日・場所	参加人数	意見交換のテーマ
第28回(8/22) 広島	13	①生協ひろしまへの相談
第29回(9/27) 広島	9	①ボランティア活動保険のIT化 ②これまでの経験をこれからの防災・減災につなげるフォーラム企画案
第30回(10/29) 広島	9	①2月2日(日)「ボランティア交流サミットひろしま2019」 ②ひろしまネットワーク会議の振り返り ③防災・減災の取組に ④行政の動きに
第31回(11/21) 広島	8	①2020年2月2日(日)ボランティア交流サミットひろしま2019
第32回(12/18) 広島	9	①複雑な被災者支援制度の理解・伝達方法



# 平成30年7月豪雨支援報告

開催日・場所	参加人数	意見交換のテーマ
第33回(1/23) 広島	11	①女性のエンパワメント ②災害を契機とした広島のポテンシャル ③今後、大きな災害が起きることを想定した備えや課題
第34回(2/19) 広島	9	①全社協からの情報 ②新型コロナウイルス等の感染症
第35回(3/25) 広島	—	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

初回(7/11)実施から第35回(3/25)まで

のべ**513**団体・**672**名が参加。

# 平成30年7月豪雨支援報告

## 参加団体（県内）

協同労働プラットフォーム／ひろしま避難者の会 アスチカ／広島県災害復興支援士業連絡会／若者活動サポートセンターあおぞら／コミサポひろしま／特定非営利法人障害者生活支援センター・てごーす／救世軍広島小隊／SeRV広島／カトリック広島司教区／マツダ株式会社／NPO法人ヒロシマ宗教協力平和センター／特定非営利活動法人ひろしま自然学校／広島市防災士ネットワーク／特定非営利活動法人ひろしまジン大学・RQ広島／中国環境パートナーシップオフィス／日本防災士会広島県支部／特定非営利活動法人ほしはら山のがっこう／特定非営利活動法人ピースウィンズジャパン／ひろしま市民活動ネットワーク HEART TO HEART／特定非営利活動法人チャリティーサンタ広島支部／高校生災害復興支援ボランティア派遣隊／特定非営利活動法人ANT-Hiroshima／広島県生活協同組合連合会／西日本豪雨災害情報サイト／一般社団法人JRVC三原／特定非営利活動法人グリーンラインを愛する会／三原市地域おこし協力隊／Social Book Café ハチドリ舎／特定非営利活動法人ひろしま県防災教育振興協会／公益財団法人ひろしまこども夢財団／学生ボランティア団体OPERATIONつながり／遊ぼう会ぷらす／船木地域支援センター／チーム踏ん張る／特定非営利活動法人障害者自立生活支援センターおのみち／広島たすけ隊／三原アレルギーの会ひだまり／本郷地域支援員／&KUMANO／広島県（地域福祉課、県民活動課）／広島県社会福祉協議会・広島県地域支え合いセンター／広島市（市民活動推進課）／広島市社会福祉協議会／三原市社会福祉協議会／広島修道大学／三原市（社会福祉課）／三原市防災士ネットワーク／住宅金融支援機構 ほか

# 平成30年7月豪雨支援報告

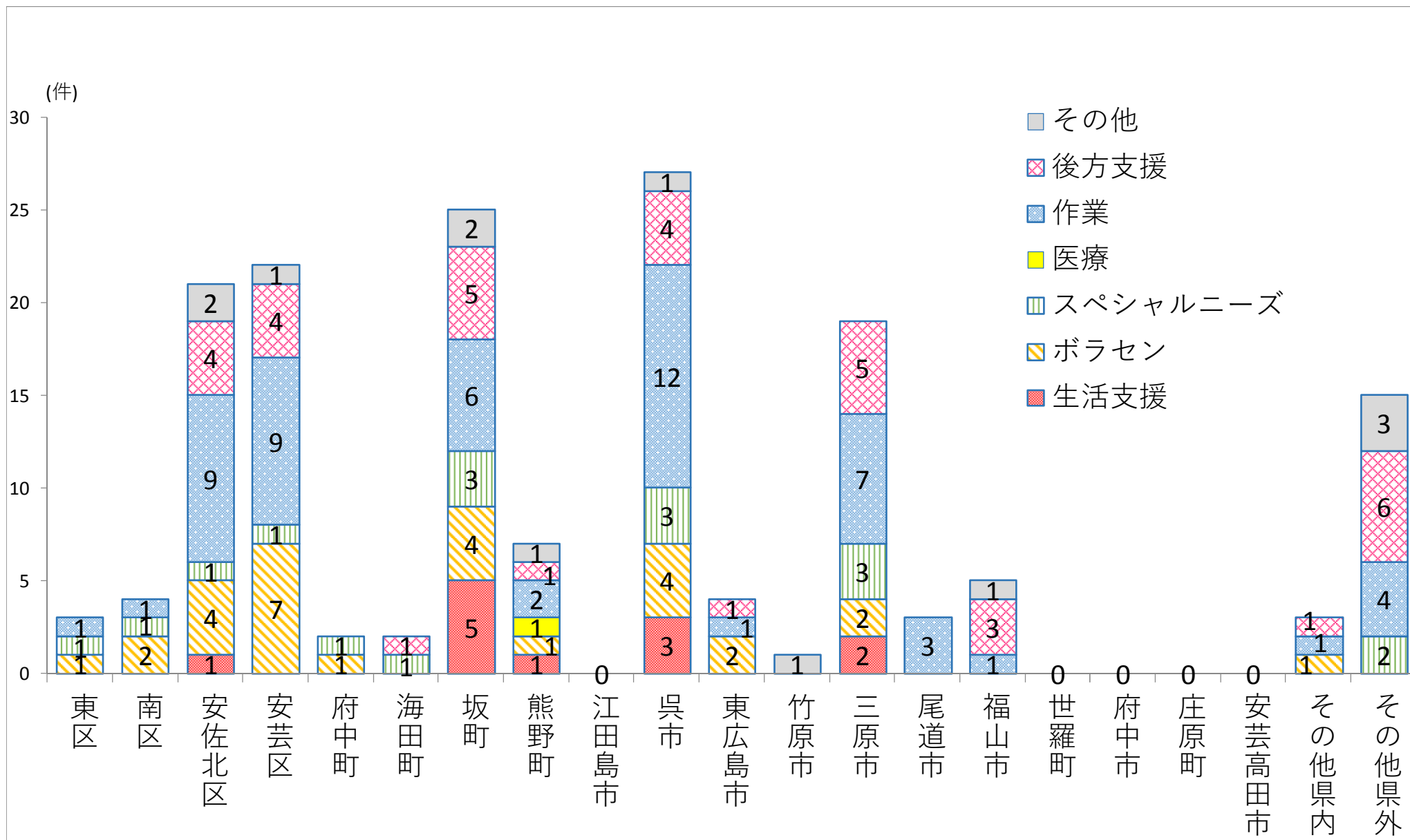
## 参加団体（県外）

被災地NGO協働センター／公益社団法人みらいサポート石巻／いわてNPO災害支援ネットワーク／一般財団法人大吉財団／一般社団法人RQ災害教育センター／ヘルピングハンズ／兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科／NPO法人日本ファシリテーション協会／NPO法人心施／しずおか茶の国会議／全国災害福祉支援連絡協議会／公益社団法人呉青年会議所／国立健康・栄養研究所／特定非営利活動法人難民支援協会／被災地医療支援チームそら／特定非営利活動法人ADRA Japan／一般社団法人震災復興支援協会つながり／認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム／日本財団／認定NPO法人国際協力NGOセンター／特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン／ゆめ風基金／情報支援レスキュー隊 IT DART／特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構／特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク／一般社団法人ジャパン・レンタル・アソシエーション／創価学会／一般社団法人大地の再生結の杜づくり／関西大学社会安全学部／公益社団法人青年海外協力協会／埼玉県立大学／震災がつなぐ全国ネットワーク／一般財団法人ダイバーシティ研究所／フレンズ国際労働キャンプ／東北大学SCRUM／内閣府／人と防災未来センター／全国社会福祉協議会／中央共同募金会／支援P／日本福祉大学／日本生活協同組合連合会／長野県社会福祉協議会 ほか

# 平成30年7月豪雨支援報告

○会議参加団体に任意で提出いただいた「**団体情報共有シート**」をもとに集計。

○複数回提出があった団体は、最新のもののみを反映した。



## ひろしまネットワーク会議への質問・意見(団体情報共有シート集計)

- 今回初めて(第二回)参加させていただきました。このような場があることを知りませんでしたので、今後**活動支援の方法を学び**、活動していきたいと思えます。
- 相談活動のニーズ**があれば連絡を下さい。
- 床はがしのニーズがボランティアでは対応できない。対応できる人をボラセンに**派遣してほしい**。
- 「ゆめ風ネットひろしま(てごーす)」と「ゆめ風ネットおのみち」の情報共有・支援を柱に、被災障害者支援活動の充実・発展を図るための**メーリングリストを立ち上げました**。関心のある方は当センターまで。
- 毎回**豊富な情報が得られています**。スタッフのみなさんに感謝します。
- 東部・西部に分けての開催助かります。
- 同じジャンルで支援する方と交流**ができよかった。
- 遠方のエリアから参加できないのは当然だと思えますが、毎回情報共有ができないのは問題ありかと思えます。**エリアを大きく分けて実施し**、本部で集約して発信するようなしくみがあればと思えます。
- 災害時の食事の問題は何度も同じことが繰り返されていると思えます。**これまで△△だったから今回も△△で良いになっていないか?**この情報共有を通して次の時にはすこしでも改善されることを望みます。

## ひろしまネットワーク会議への質問・意見(団体情報共有シート集計)

- 市(行政)との連携、情報共有の場が必要。
- 福山市・府中市付近の河川の片付けがなぜ進まないのか。
- 阪神・淡路のときに兵庫県が設けた被災者復興支援会議や新潟中越の中越復興市民会議のような、官民連携で復興の課題や必要な施策を議論する場が必要と感ずます。ぜひひろしまNPOセンターが当ネットワーク会議から県や市町に提案してほしいです。
- 浸水、土砂撤去、がれき撤去に発生する費用の助成等制度の情報がさくそうしている印象。市県国などの助成について、動向をまとめて確認できると良いと思う。(行政の対応を待って、土砂などをそのままにしている人も多い。)
- 集まった物資を必要な場所に届くような情報共有(団体の掲示板など)ができると良いです。
- 地域住民が主体となっているので、細かなニーズ調査や情報収集のお手伝い、支え合いセンターとの連携を希望しています。現在は、本郷町内全域の他、大和、木原、久井などからも物資を取りに来られています。
- この会議に出て初めて知りえた具体的な被災情報があります。貴重な場です。

## (9) 平成30年7月豪雨災害ひろしまコミュニティ支援基金

### ① 基金について

ひろしまコミュニティ支援基金は、地域の皆様の常日ご  
ろの活動を応援する基金です。

本基金をご活用いただき、災害に強い、そして豊かな  
地域づくりにお役立ていただけることを願っています。

ひろしまNPOセンター復興支援活動

平成30年7月豪雨災害

ひろしまコミュニティ支援基金

応募要項



～ひろしまにともす、希望の灯り～

この基金は、復旧・復興を願う市民の皆様からのご寄付に加え、Yahoo! 基金様において実施された、みんなのチャリティー募金『【支援金が2倍に】平成30年7月豪雨緊急災害支援募金』からのご寄付、Yahoo! JAPANネット募金『【平成30年7月豪雨】広島まだまだがんばるとるけえ!』へのご寄付、2019年7月13日に開催された『「西日本豪雨復興支援 岩田英憲が奏でる風の魂～自然 生命 希望～in広島」コンサート（エイケントリオコンサート実行委員会）』の収益金額からのご寄付を基に実施するものです。

## (9) 平成30年7月豪雨災害ひろしまコミュニティ支援基金

### ② 助成事業について

#### (A) 常日ごろの活動応援コース

平成30年7月豪雨災害において被災された地域で実施されている地域コミュニティづくり活動（※1）に対して助成を行います。

※1 想定している地域コミュニティづくり活動

サロン活動、草刈り・ゴミ捨て、花植え、お祭り、健康づくり運動、自治会・町内会などの会議や集まり 等

対象となる経費	常日ごろの地域コミュニティづくり活動にかかる費用であれば用途指定はありません。
助成額	1件あたり上限5万円（総額150万円程度）
助成対象	<ul style="list-style-type: none"><li>平成30年7月豪雨災害によって被災した広島県内の地域を拠点とする非営利団体（NPOやボランティア団体、自治会や町内会、趣味のグループなど、法人格の有無は問いません）※個人による応募はできません。</li><li>助成金の対処となる活動の情報公開（報告書等への掲載）ができること。</li><li>活動実施後、活動報告書をご提出いただけること。（活動報告書は採択後にご提供します。）</li></ul>
助成対象期間	<ul style="list-style-type: none"><li>2019年4月1日～2020年3月31日の期間に実施する（実施された）活動。</li></ul>
主な選考基準	<ul style="list-style-type: none"><li>平成30年7月豪雨災害によって被災した地域であるかどうか。</li><li>応募者の主体的な活動であるかどうか。</li><li>応募する活動が常日ごろの地域づくりや関係づくりであるかどうか。</li><li>どれくらいの人を対象とした活動であるか。</li></ul>



## (9) 平成30年7月豪雨災害ひろしまコミュニティ支援基金

### ② 助成事業について

#### (B) 災害にそなえるコース

地域における避難訓練をはじめとする減災・防災活動（※2）に対して助成を行います。

※2 想定している減災・防災活動

避難訓練、見守り活動、自主防災組織の活動、防災リーダー研修、地域防災指導員の養成、災害時要援護者の名簿作り、防災行動計画づくり、防災マップづくり、防災冊子制作、地域の防災倉庫 等

対象となる経費	減災・防災活動にかかる費用であれば用途指定はありません。
助成額	1件あたり上限5万円（総額150万円程度）
助成対象	<ul style="list-style-type: none"><li>広島県内に拠点を置く非営利団体（NPOやボランティア団体、自治会や町内会、趣味のグループなど、法人格の有無は問いません） ※個人による応募はできません。</li><li>助成金の対象となる活動の情報公開（報告書等への掲載）ができること。</li><li>活動実施後、活動報告書をご提出いただけること。（活動報告書は採択後にご提供します。）</li></ul>
助成対象期間	<ul style="list-style-type: none"><li>2019年4月1日～2020年3月31日の期間に実施する（実施された）活動。</li></ul>
主な選考基準	<ul style="list-style-type: none"><li>減災・防災活動であるかどうか。</li><li>応募者の主体的な活動であるかどうか。</li><li>どれくらいの人を対象とした活動であるか。</li></ul>

## (9) 平成30年7月豪雨災害ひろしまコミュニティ支援基金

### ③応募・選考状況について

【応募期間】 2019年12月1日～2020年1月31日

【応募結果】 応募件数：74件、応募総額：36,100,000円

【選考結果】 67プロジェクト、総額：3,250,000円

コース	応募件数	応募総額	採択件数	採択総額
(A) 常日頃の活動 応援コース	40件	1,950,000円	36件	1,750,000円
(B) 災害にそなえる コース	34件	1,660,000円	31件	1,500,000円
合 計	74件	3,610,000円	67件	3,250,000円

## (10) その他

- 県内NPO団体の安否確認、災害支援関連情報の収集・発信
- 日本NPOセンターおよび全国のNPOセンターとの連携  
(応援スタッフ派遣の受入、今後の連携に向けた検討)
- 岡山県・愛媛県の関係団体との連携(支援活動、支援金募集)
- 活動団体の支援を行う関係機関(JVOAD、JPF、全国社会福祉協議会、中央共同募金会、日本財団ほか)との連携
- NPO・企業・市民と連携した物資支援(幼児服、女性用衣類、食品ほか)
- ジャパン・プラットフォーム(JPF)および全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)との協働事業「西日本豪雨被災者に対する支援調整と3県県域災害ネットワーク構築・強化」の締結。
- ボラ写PROJECTとの連携、「ボラ写展in広島」の開催協力。
- 各地域の復興活動の支援(安浦夏祭り、)
- 行政有志職員勉強会(熊野町、坂町、広島市安芸区)、板書ボランティア養成講座、地域支え合いセンタースタッフ向け研修等の開催。

## (1) 自助・共助・公助の見直しと再構築

- 行政が新しくできたこと(民地の土砂撤去)と限界(行政の受援力)
- 自律型の地域ボランティアセンター
- 民間の力でどこまでやるのか(地域やNPOの疲弊、アドボカシー)

## (2) 実践(復旧・復興支援、平時の活動)を通じた

### ネットワーク構築

- 復旧・復興支援を通じた関係構築と経験知の伝承
- 災害分野の関係者だけではないネットワーク
- 平時の様々な機会における関係構築や学習機会
- これまでの経験を今後の防災・減災につなげる取組

## (3) 中間支援組織・機能の拡充

- 三者連携(行政、社協、民間)の推進
- 中間支援“組織・機能”への支援
- 国・広域エリア・県・市町レベルの中間支援組織・機能の連携



## これまでの パートナーシップ



## これからの パートナーシップ

地域

地縁組織、社協、ボランティア、  
NPO・NGO

広域ネットワーク、  
多様な主体・支援者

分野

マニュアル、ノウハウ  
災害の種類、大きな専門性

地域力、仕組み  
予測、ニーズの多様化

立場

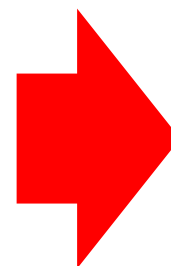
応急的な防災  
災害からの復興

防災まちづくり、+防災  
災害に強い地域づくり

世代

トップダウン  
自治組織(中高年)  
経験、記録、啓発

ボトムアップ、協働  
若者・女性の活躍  
伝承、活用、防災学習



# ご静聴ありがとうございました



## <連絡先>

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター（松原裕樹）  
〒730-0013 広島市中区八丁堀3-1 幟会館2F  
TEL: (082) 511-3180 FAX: (082) 511-3179  
HP : <http://npoc.or.jp/>  
E-mail : [matsubara@npoc.or.jp](mailto:matsubara@npoc.or.jp)